

令和元年度 公益財団法人山形県スポーツ協会 事業報告

1 スポーツ振興に関する事業

(1) 生涯スポーツの推進

① 地域体育協会の活性化を図った。

ア 地区体育協会連絡協議会への活動支援と連携（7地区）

イ 市町村体育・スポーツ協会との連携

② 総合型地域スポーツクラブの活性化を図った。

ア 総合型地域スポーツクラブへの活動支援

イ クラブリーダーの育成

(2) スポーツ指導者の養成と活用

① スポーツ指導者養成講習会を開催した。

内容：山岳（参加者10名）、バレーボール（参加者30名）

② 県スポーツ指導者研修会を開催した。

期日：令和元年11月16日（土）

会場：山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」2階大会議室

内容：講演Ⅰ「そのあなたの熱い想い、言葉にできていますか？」

講師：株式会社ボディチューン・パートナーズ ディレクター

BQ（身体知能）アドバンスファシリテーター 佐藤 美咲 氏

講演Ⅱ「スポーツの集い～2020東京オリンピック・パラリンピック後の

スポーツのあり方を探る～」

講師：日本スポーツ協会副会長兼専務理事 泉 正文 氏

日本スポーツ振興センター理事 勝田 隆 氏

山形県スポーツ協会スポーツ指導員 池田 めぐみ 氏

③ 県スポーツ指導者連絡協議会と連携を図った。

(3) 普及事業の推進

① 県縦断駅伝競走大会への支援を行った。

② 県少年少女スポーツ交流大会への支援を行った。

③ 県高等学校体育連盟・県中学校体育連盟への活動支援を行い、連携を図った。

(4) 競技団体活動の支援

国体正式競技種目以外の15競技に対して活動支援を行った。

(5) 企業スポーツへの支援

企業スポーツの育成と活性化を図るため「県企業スポーツ振興協議会」へ支援を行った。

(6) 顕彰に関する事業

本県スポーツの発展に貢献した個人・団体に対し、本会表彰規程に基づき、次の表彰を行った。（山形県スポーツ賞・山形県スポーツ協会表彰授賞式として開催）。

① 殊勲賞 個人73名・団体2団体

② 奨励賞 個人8名

③ 功労賞 個人14名・ライオンズスポーツ賞 個人3名

(7) 広報に関する事業

- ① ホームページの充実を図り、県スポーツ協会活動を積極的に情報提供した。
 - ア スポーツ協会活動の発信
 - イ 協賛企業、会員の募集等
- ② 県スポーツ協会広報誌「スポーツ山形」110号、111号を発刊した。
- ③ 県スポーツ協会広報パンフレットを作成した。
- ④ スポーツ少年団広報誌「大空に翔る」35号を発刊した。

(8) 山形県スポーツ会館管理事業

本県スポーツ団体の拠点施設として、適切な管理運営を行った。

2 少年スポーツの振興に関する事業

(1) スポーツ少年団の普及と活動の充実

- ① 指導者の育成と指導者組織の充実を図った。
 - ア 山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会の実施
令和元年11月9日(土) (鶴岡市)
 - イ スポーツ少年団認定員養成講習会の実施
令和元年10月19日(土)～20日(日) (舟形町)
令和元年10月26日(土)～27日(日) (酒田市)
令和元年11月16日(土)～17日(日) (川西町)
令和元年11月16日(土)～17日(日) (鶴岡市)
令和元年11月23日(土)～24日(日) (山形市)
令和元年12月7日(土)～8日(日) (寒河江市)
 - ② 関係機関、団体との連携の充実を図った。
 - ア 市町村スポ少・スポ安研修会の実施
令和2年2月28日(金) (県スポーツ会館)
 - ③ リーダーの養成と活動環境の充実を図った。
 - ア ジュニア・リーダースクールの実施
令和元年8月9日(金)～11日(日) (遊佐町)
 - ④ 各種交流事業の充実を図った。
 - ア 山形県少年少女スポーツ交流大会の実施(16競技)
令和元年10月6日(日) 主会期 (県内各地)
 - イ 山形県スポーツ少年大会の実施
令和元年8月9日(金)～11日(日) (遊佐町)
 - ウ 日独スポーツ少年団同時交流事業の実施
令和元年7月31日(水)～8月17日(土) 派遣 (ドイツ各地)
令和元年7月25日(木)～7月29日(月) 受入 (北村山地区)
 - ⑤ 各専門委員会の活性化を図った。
- (2) 青少年の健全育成
- ① 加盟団体が様々なスポーツ活動を通じ「フェアプレー精神」の高揚を図った。
 - ② 青少年のスポーツ指導者に対して、体罰・暴言等の根絶を訴えた。
 - ③ 国体県予選会等において、環境に配慮するスポーツマンの育成を図った。

3 競技力向上に関する事業

(1) 国民体育大会及び東北総合体育大会にかかわる事業

① 第74回国体本大会及び第75回冬季大会の山形県予選会を開催した。

ア 第74回国体体育大会山形県予選会兼第46回東北総合体育大会山形県予選会
主会期：令和元年 7月12日（金）～14日（日） （県内各地）

38競技：5,063名（平成30年度：5,246名）

イ 第75回国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会山形県予選会
アイスホッケー（成年） 令和元年11月 3日（日） （福島県郡山市）

34名参加（平成30年度：41名）

※ アイスホッケー競技会の少年の部及びスケート競技会は実施せず。

ウ 第75回国体冬季大会スキー競技会山形県予選会
令和2年 1月13日、14日、19日 （山形市、上山市、大蔵村）

129名参加（平成30年度：158名）

② 第46回東北総合体育大会に参加した。

主会期：令和元年 8月23日（金）～25日（日） （福島県）

36競技：1083名参加（平成30年度：961名）

③ 第74回国体体育大会本大会、第75回国体体育大会冬季大会に参加した。

ア 第74回国体会期前 令和元年9月 7日（土）～16日（月） （茨城県）

イ 第74回国体主会期 令和元年9月28日（土）～10月8日（火） （茨城県）

33競技481名参加（第73回国体本大会：31競技436名参加）

<第74回国体体育大会成績>

天皇杯得点 848点 第32位（73回817.25点 第34位）

皇后杯得点 568点 第23位（73回575.25点 第23位）

ウ 第75回国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会
令和2年 1月29日（水）～ 2月 2日（日） 27名参加 （青森県）

エ 第75回国体冬季大会スキー競技会
令和2年 2月16日（日）～ 2月20日（木） 68名参加 （富山県）

<第75回国体体育大会冬季大会成績>

天皇杯得点 177.0点 第4位（74回152.0点 第5位）

皇后杯得点 98.0点 第3位（74回 75.0点 第5位）

④ 強化環境の整備を図るために、コーチングスタッフ及び強化指定選手を指定した。

540名（監督・コーチ98名、選手442名）

(2) スポーツ医・科学支援体制の充実

① 国民体育大会・東北総合体育大会へ帯同ドクター・帯同トレーナーの派遣を行い、医・科学的サポートを行った。

② アンチ・ドーピング啓発を行った。

③ 日本スポーツ協会公認スポーツドクター及びスポーツプログラマー・アスレチックトレーナーの資格取得促進と活用を図った。

④ スポーツ医・科学の充実のため、マルチサポートセンターの管理・運営を行った。

⑤ スポーツ医科学活動報告書の作成を行った。

(3) 優秀指導者・選手確保事業

優秀指導者・選手をスポーツ指導員及びスポーツ技術員として確保し、本県の競技力向上を図った。

(4) 競技強化支援事業

- ① 東京オリンピックに向けた重点的かつ集中的な強化を行った。
- ② 競技スポーツ普及・強化のため、スポーツ関係団体が実施する事業を支援した。
- ③ 女性アスリートの競技力向上を図るため、研修会を開催した。

(5) 国際競技大会出場監督・選手への激励

主要大会に派遣される本県関係者延べ32名に対して、激励金を交付した。

(6) スポーツタレント発掘事業への支援

将来のトップアスリート育成を計画的に実施する「スポーツタレント発掘事業」への取り組みと支援を行った。

4 財政の確立と組織体制の充実

(1) 財政基盤の確立

将来を見通した計画的な運営を行うとともに、賛助会員の拡大等を推進した。

〈参 考〉

1 開催会議

- ① 県体育協会理事会 年2回
- ② 県体育協会評議員会 年2回
- ③ 県体育協会 各専門委員会 委員会毎随時開催
- ④ 国民体育大会監督会議 年1回
- ⑤ 国体県予選会実行委員会・運営委員会 年1回
- ⑥ 少年少女スポーツ交流大会運営委員会 年3回

2 出席会議等

- ① 日本スポーツ協会評議員会 年2回
- ② 日本スポーツ協会加盟団体事務局長会議 年1回
- ③ 都道府県体育（スポーツ）協会連合会総会 年1回
- ④ 都道府県体育（スポーツ）協会連合会事務局長研修会（東地区：北海道） 年1回
- ⑤ 都道府県体育（スポーツ）協会事務局職員研修会（鹿児島県） 年1回
- ⑥ 東北体育（スポーツ）協会連合会総会（東北六県体育関係代表者会議） 年2回
- ⑦ スポーツ安全協会担当体育協会事務局連絡協議会 年2回